




令和3年 **7**月の**優しさ**通信

目次

- (1)  障がい者理解 動画で促進
- (2)  釣り具の技 介護機器に がまかつ、排泄補助ロボ
- (3)  血液から認知症兆候 島津が検出装置

♥今月の福祉用具－自助具 自助具の選び方

食食用機器・自助具の選択基準

(1) 障がい者理解 動画で促進

*福祉施設の職員や企業に対し、障がい者との接し方を紹介した研修動画を配信するLean on Me (大阪府高槻市)。2014年に立ち上げ。

*目標に据えるのは、障がい者と健常者が同じ空間で働ける社会。

*計500本の動画コンテンツを配信。毎月100本ほどのペースで増やし、約2500本の配信体制に。

*3月、企業における障がい者の法定雇用率が2.3%と、従来から0.1ポイント引き上げ。

・欧米は5～6%。

(2021年6月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 釣り具の技 介護機器に がまかつ、排泄補助ロボ

さおのしなり・縫製を応用 新分野、成長の足場

*釣り具大手メーカーのがまかつは介護機器事業に乗り出します。

*釣り竿のしなりやライフジャケットの縫製など釣り具製造の技術を生かし、介護ロボットを今夏にも売り出します。

*開発したのは歩行や自立が困難な要介護者の排泄動作を補助するロボ。

・価格は100万～200万円の見込み。

*釣りは3密を避けられるレジャーとして注目され、本業は足元で好調。

*1990年代後半に2000万人を超えた釣り人口は、2019年は670万人。

*釣り場の減少も懸念材料。

(2021年6月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) **血液から認知症兆候 島津が検出装置**

*島津製作所は、アルツハイマー病の原因物質とされるたんぱく質を血液数滴から検出する装置を発売。価格は約1億円。

・原因物質とされる「アミロイドベータ」の血液中の蓄積量を測定。

*米バイオジェンとエーザイの新薬「アデュヘルム(一般名アデュカナマブ)」は脳内に蓄積したアミロイドベータを除去し、病態の進行を緩やかにする効果が期待されます。

*島津の装置は診断装置ではなく、病態を把握する補助機器との位置づけ。

(2021年6月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の福祉用具－自助具 自助具の選び方

食食用機器・自助具の選択基準

1. 姿勢を楽にさせることを第一に考えます。
2. 食事場所は床布団、ベッド上よりは車いす上、さらには食事専用場所で椅子上が衛生面、心理面で望ましいです。
3. まず一般製品でどこまでできるか見極め、問題点を明らかにします。そして解決策を考え、仮に試みて入手を検討します。
4. 検討された食事上の問題の解決策として機器を使用し、適合と効果を確認します。慣れることができそうなら、まずはよしとします。
5. 食食用機器の価格は一般製品より高く、使用を阻む一因です。価格、材質、耐久性を検討し、実用性、経済性で本人・介助者とも、心理的に受け入れられるものがよいです。
6. 衛生管理ができることが大切です。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

